

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 28 年 11 月 29 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
霧島市立医師会医療センター、霧島市	
企画名	
第 28 回市民健康講座	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
<p><広報活動></p> <ul style="list-style-type: none">・市広報お知らせ版にて市内全域広報・チラシを自治会の班回覧にして市内全域広報・市ホームページのイベント情報及び新着にアップ・開催前にもケーブルテレビのエリアの出来事及びケーブルテレビ伝言板にて広報・FM ラジオにて広報・市内各地区のがん検診時などの受診者へチラシの配布・食生活推進委員会、運動推進委員会、民生委員会に組織を通して来演依頼・母子保健推進員、市内全公民会長へ全個別通知して来演依頼・ピンクリボン会長へのお知らせ・社会福祉協議会事務局、シルバー人材派遣センター事務局へ出向きチラシ配布依頼 ・・・など。	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2016 年 11 月 5 日(土) 午前 10 時～午前 11 時 30 分
実施場所	鹿児島県霧島市 隼人町農村環境改善センター
参加人数	253 名
具体的な実施内容： ①講演 テーマ「がんとうまく付き合うために～がんの総合ケア～」 講師 霧島市医師会医療センター 三阪 高春 (医師) 新村 弥生 (看護師：がん化学療法認定看護師) 松元 和代 (看護師：緩和ケア認定看護師) 内門 裕樹 (メディカルソーシャルワーカー)	

効果について(アンケートの結果など)

アンケート結果より

①参加者 253 名の内訳は男性 19%、女性 80% (無回答 1%) であり、20 才未満から 80 才代まで幅広い年代の方に参加していただきました。

②講座の理解度としては次のような結果となりました。

とてもわかりやすかった 49%

わかりやすかった 43%

少し難しかった 6%

難しかった 0%

(無回答 2%)

③いただいた感想は 100 件以上に及びました。

「それぞれ 4 人が、がんについて違った視点から説明していただき、とてもいい学びになった。『緩和ケア』という、亡くなる前の患者の死を看取るというイメージがあったが、がんの初期から様々な医療スタッフの連携のもとでその人らしく過ごせるように支援しているとわかり、緩和ケアの素晴らしさを改めて感じた」(20 代・女性)

「医師、看護師、MSW といった各々の立場からの講義があり、今後のがんとの関わりあい方等について、非常に参考になりました。」(50 代・男性)

「がん治療について各方面からの様々な話が聞けて、とても勉強になりました。自分がいざ病気になった時の心構えなど、改めて考えるきっかけとなりました。」(30 代・女性)

「身内にがん患者がいるにあたり、とても心配ですのでいろんな話が聞きたい。今日はとても良い日になりました」(70 代・女性)

など、理解度の高さを伺わせる言葉をいただく一方で、

「緩和ケアはとても必要なケアであると感じます。ケア内容をもう少し具体的にお話ししても良いと思います。経済面はとても感心があります。」(60 代・女性)

「もう具体的な話を期待したい」(70 代・男性)

「時間が短いので仕方ありませんが、時間が許されるなら具体的な例を聞いてみたいと思いました。」(40 代・女性)

など、時間の配分や、具体的な症例を使つての説明を希望される声もありました。

④今回は、聴覚障害者からの参加の希望があり、初めて手話通訳を付ける試みを行いました。参加した健常者の市民の方からも、「手話通訳の方がおられ、スタッフの方々が、すべての市民の健康を願っておられることがわかり安心しました。」(60 代・女性)との感想をいただきました。

また、参加した聴覚障害者の方からは

「手話を用いた説明で、体の不自由な方でもわかりやすい説明だった。」(20 代・男性)

「診断について手話があれば欲しいです」(40 代・不明)

「手話通訳がついて良かった。来年度以降もつけてほしい」(無記名)

などの意見がありました。

その他報告

霧島市立医師会医療センターでは、平成28年4月より緩和ケア（総合ケア）病棟を開設しました。「医療センターに緩和ケア病棟ができたことを知りましたので、地域で最後を迎えられる場所が出来たことが嬉しいです。」（60代・女性）など、概ね地域の皆様に受け入れられているのではと感じました。

「がんのことを色々と知り、ありがとうございました。市民としてこのようなセンター、医療チームがあることを有り難く思っています。今後ともご活躍、ご支援よろしくお願ひします。」（80代・男性）の声に代表されるように、今回の講座では、多くの感謝と励ましの言葉をいただき、私達も身の引き締る思いとなりました。

病院の理念「病む人の立場にたって、人権を尊重し、信頼に応える医療を提供することを目指します」の精神を改めて見つめなおし、緩和ケアについての正しい知識の普及のために尽力し、地域の医療に向き合っていきたいと考えています。

※公式ホームページ（緩和ケア.net）への掲載について

（掲載してもよい・掲載しないでほしい）

- ポスター、チラシなどを作成した場合、添付してください
- 当日の様子(当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など)を添付してください

